

公立大学法人青森県立保健大学
令和元年度 業務実績評価書（案）

令和 2 年 8 月

青森県地方独立行政法人評価委員会

目 次

第一	評価の基本的な考え方	-----	1
第二	評価の結果		
1	全体評価		
(1)	総評	-----	3
(2)	業務の実施状況	-----	4
(3)	組織、業務運営等に係る改善事項等	-----	4
2	項目別評価		
(1)	教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画（教育）	-----	5
(2)	教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画（研究）	-----	6
(3)	教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画（地域貢献）	-----	7
(4)	業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための計画	-----	8
(5)	財務内容の改善に関する目標を達成するための計画	-----	8
(6)	教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに 当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための計画	-----	9
(7)	その他業務運営に関する重要目標を達成するための計画	-----	9

第一 評価の基本的な考え方

青森県地方独立行政法人評価委員会は、地方独立行政法人法第78条の2第1項及び第3項の規定に基づき、公立大学法人青森県立保健大学（以下「青森県立保健大学」という。）の令和元年度における業務の実績について、以下の基本的な考え方により評価を行った。

評価の実施に当たっては、青森県立保健大学の年度計画に定めた事項ごとにその実績等を明らかにした業務実績報告書及び法人への聴取等に基づき調査・分析を行い、その結果を踏まえて「項目別評価」及び「全体評価」を行う。

1 項目別評価

中期計画に掲げる次の事項ごとに、中期計画の達成に向けた業務の進捗状況及び特筆すべき事項の内容を総合的に勘案して、5段階により評価する。なお、教育研究については、その特性に配慮し、専門的な観点からの評価は行わず、外形的な進捗状況を評価する。

- (1) 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画（教育）
- (2) 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画（研究）
- (3) 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画（地域貢献）
- (4) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための計画
- (5) 財務内容の改善に関する目標を達成するための計画
- (6) 教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための計画
- (7) その他業務運営に関する重要目標を達成するための計画

〔5段階〕

- 5：中期計画の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある。
- 4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。
- 3：中期計画の達成に向けておおむね順調な進捗状況にある。
- 2：中期計画の達成のためには進捗がやや遅れている。
- 1：中期計画の達成のためには進捗が著しく遅れており、重大な改善事項がある。

2 全体評価

項目別評価の結果を踏まえ、令和元年度における業務実績の全体について、記述式により総合的に評価する。また、必要がある場合は、業務運営の改善その他の勧告をする。

青森県地方独立行政法人評価委員会委員及び専門委員

区 分	氏 名	役 職 等
委員長	伊 藤 成 治	国立大学法人弘前大学教育学部 教授
委員（委員長職務代理者）	大 矢 奈 美	青森公立大学経営経済学部 准教授
委員	倉 成 美納里	日本公認会計士協会東北会青森県会 公認会計士
委員	田 中 正 子	株式会社エール・キャリアスタッフ 代表取締役
委員	西 原 和 昭	日本政策金融公庫 青森支店 農林水産事業 事業統轄
専門委員（大学関係）	熊 谷 崇 子	保健師

第二 評価の結果

1 全体評価

(1) 総評

青森県立保健大学は、本県の保健、医療及び福祉に係る諸課題の解決に向けて取り組むことを理念として、人間性豊かでグローバルな視点を持ち、地域特性に対応できる能力を兼ね備えた保健、医療及び福祉の中核的役割を果たすことができる人材を育成すること、並びに保健、医療及び福祉の教育研究拠点として培った人的資源や教育研究成果を広く地域社会に還元するとともに、産学官民の連携した取組による地域貢献活動を展開し、県民の健康と生活の向上に寄与することを使命としている。

第二期中期目標・計画期間（平成26年度から令和元年度まで）の最終年度となる令和元年度は、各学科のきめ細かな学生指導をはじめ、人材育成とキャリア支援の充実により、全国的にも高水準である国家試験合格率と就職率100%を達成しており、高い成果を上げたと認められる。

年度計画については、中期計画の達成に向けて、ほぼ計画どおりに実施したと評価できる。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響により実施を見送った取組等については、その実施方法や実施時期等を工夫するなどして確実に実施するよう努められたい。

(2) 業務の実施状況

業務の実施状況は、全体として年度計画に定めた事項は着実に実施されている。

<評価結果の概要>

	特筆すべき 5	順 調 4	おおむね順調 3	やや遅れ 2	著しく遅れ 1
(1) 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画 (教育)		○			
(2) 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画 (研究)		○			
(3) 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画 (地域貢献)		○			
(4) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための計画		○			
(5) 財務内容の改善に関する目標を達成するための計画		○			
(6) 教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための計画		○			
(7) その他業務運営に関する重要目標を達成するための計画		○			

(3) 組織、業務運営等に係る改善事項等

特に改善勧告を要する事項はない。

2 項目別評価

(1) 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画（教育）

評価

4：中期計画の達成に向けて
順調な進捗状況にある。

<評価の理由>

年度計画の記載67項目中7項目が「年度計画を上回って実施している」、58項目が「年度計画を十分に実施している」と認められたが、大学院生の研究発表の促進に係る2項目（博士前期課程及び博士後期課程の各1項目）について、一人当たりの査読のある学術雑誌への投稿件数が目標に届かなかったことから「年度計画を十分には実施していない」と認められた。

「年度計画を十分には実施していない」とされた項目はあったものの、下記の状況等を総合的に勘案し、「4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」とした。

<特に評価する事項>

- ・ 各学科のきめ細かな学生指導をはじめ、人材育成とキャリア支援の充実による国家試験合格率の高さと就職率100%を高く評価する。
- ・ 高大連携事業や、幅広い学生募集対策の実施により、高い入学志願者倍率を維持していることを評価する。

<その他の意見>

- ・ 看護学科における地域定着枠については、地域貢献度が高く、看護の質向上にもつながるものと期待されることから、実施に向けた基盤整備をしっかりと進めていただきたい。
- ・ 大学院課程においては、前期・後期課程毎の研究指導方針を明確化した上で、研究発表の指導教育を促進することを期待する。

※1 各種国家試験合格率及び就職率

R元 主な国家試験合格率

看護師97.2%、保健師100.0%、助産師100%、理学療法士100.0%、社会福祉士84.3%、精神保健福祉士92.3%、管理栄養士97.1%。

R元 卒業生就職率

学部全体100.0%

(2) 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画（研究）

評価

4：中期計画の達成に向けて
順調な進捗状況にある。

<評価の理由>

年度計画の記載8項目のすべてが「年度計画を十分に実施している」と認められたことに加え、下記の状況等を総合的に勘案し、「4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」とした。

<特に評価する事項>

- ・ヘルスリテラシーの向上をはじめとする地域課題の解決に向けた研究課題について、学内研究費助成制度を活用した取組が推進されている。また、研究成果の県民への公開などに継続的に取り組んでいる。

<その他の意見>

- ・今後も継続して研究活動を強化することによって、科研費をはじめとする外部資金への応募件数及び採択率の向上を期待する。

(3) 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画（地域貢献）

評価

4：中期計画の達成に向けて
順調な進捗状況にある。

<評価の理由>

年度計画の記載11項目中2項目が「年度計画を上回って実施している」と認められ、9項目が「年度計画を十分に実施している」と認められたことに加え、下記の状況等を総合的に勘案し、「4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」とした。

<特に評価する事項>

- ・ 学生参画型の地域活動である「おかず味噌汁健やか力向上委員会」の活動が農林水産大臣賞を受賞したことやCOC+事業の「女子学生の県内就職・定着に向けた教育プログラム」開発主査校として成果をあげたことを高く評価する。

<今後の課題とする事項>

- ・ 同窓会ネットワーク強化に向けた取組をさらに充実させ、将来の人材還流につながる取組に期待する。

<その他の意見>

- ・ 県内就職率のさらなる向上に向け、行政や県内事業所等との連携強化やUターン促進などに今後とも積極的に取り組んでいただきたい。

※2 R元 県内就職率 全学部合計33.2%

看護学科30.2%、理学療法学科28.1%、社会福祉学科53.6%、栄養学科12.5%、

(参考)目標44.4%以上

(4) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための計画

評価

4：中期計画の達成に向けて
順調な進捗状況にある。

<評価の理由>

年度計画の記載 11 項目中 9 項目が「年度計画を十分に実施している」と認められたが、内部監査の実施及び問題点の改善と専門的職員の育成に係る 2 つの項目については、新型コロナウイルスの影響等のため一部未実施となったことから「年度計画を十分には実施していない」と認められた。

「年度計画を十分には実施していない」とされた 2 つの項目については、開催できないやむを得ない理由があったこと及び翌年度に実施する旨を確認したこと等を総合的に勘案し、「4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」とした。

<特に評価する事項>

- ・ 大学職員への職場内・外研修のほか、産業能率大学の通信講座を自己研修助成対象とするなど、計画的に職員の専門性と資質の向上に取り組んでいる。

<その他の意見>

- ・ 新型コロナウイルスの影響等により実施できなかった内部監査等については、その実施方法等を工夫するなどして翌年度に確実に実施していただきたい。

(5) 財務内容の改善に関する目標を達成するための計画

評価

4：中期計画の達成に向けて
順調な進捗状況にある。

<評価の理由>

年度計画の記載 11 項目のすべてが「年度計画を十分に実施している」と認められたこと等を総合的に勘案し、「4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」とした。

<特に評価する事項>

- ・ 運営経費及び光熱水使用量の抑制についての目標を達成するなど、職員のコスト意識の向上に取り組んでいる。

<その他の意見>

- ・ 外部資金採択件数に関して目標に届かない面もあるが、民間との共同研究を支援する等のサポート体制をより一層強化するなどして採択件数のみならず採択金額の向上を目指した取組を期待する。
- ・ 職員宿舎を含めた大学資産の有効活用について、その具体策を迅速に検討、実施していただきたい。

(6) 教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための計画

評価

4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。

<評価の理由>

年度計画の記載6項目のすべてが「年度計画を十分に実施している」と認められたこと等を総合的に勘案し、「4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」とした。

(7) その他業務運営に関する重要目標を達成するための計画

評価

4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。

<評価の理由>

年度計画の記載8項目中7項目が「年度計画を十分に実施している」と認められたが、人権に関する委員会の開催に係る項目について、新型コロナウイルス感染予防のため開催を見送ったことから「年度計画を十分には実施していない」と認められた。

「年度計画を十分には実施していない」とされた項目はあったものの、当該項目については、開催できないやむを得ない理由があったこと及び翌年度に実施する旨を確認したこと等を総合的に勘案し、「4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」とした。